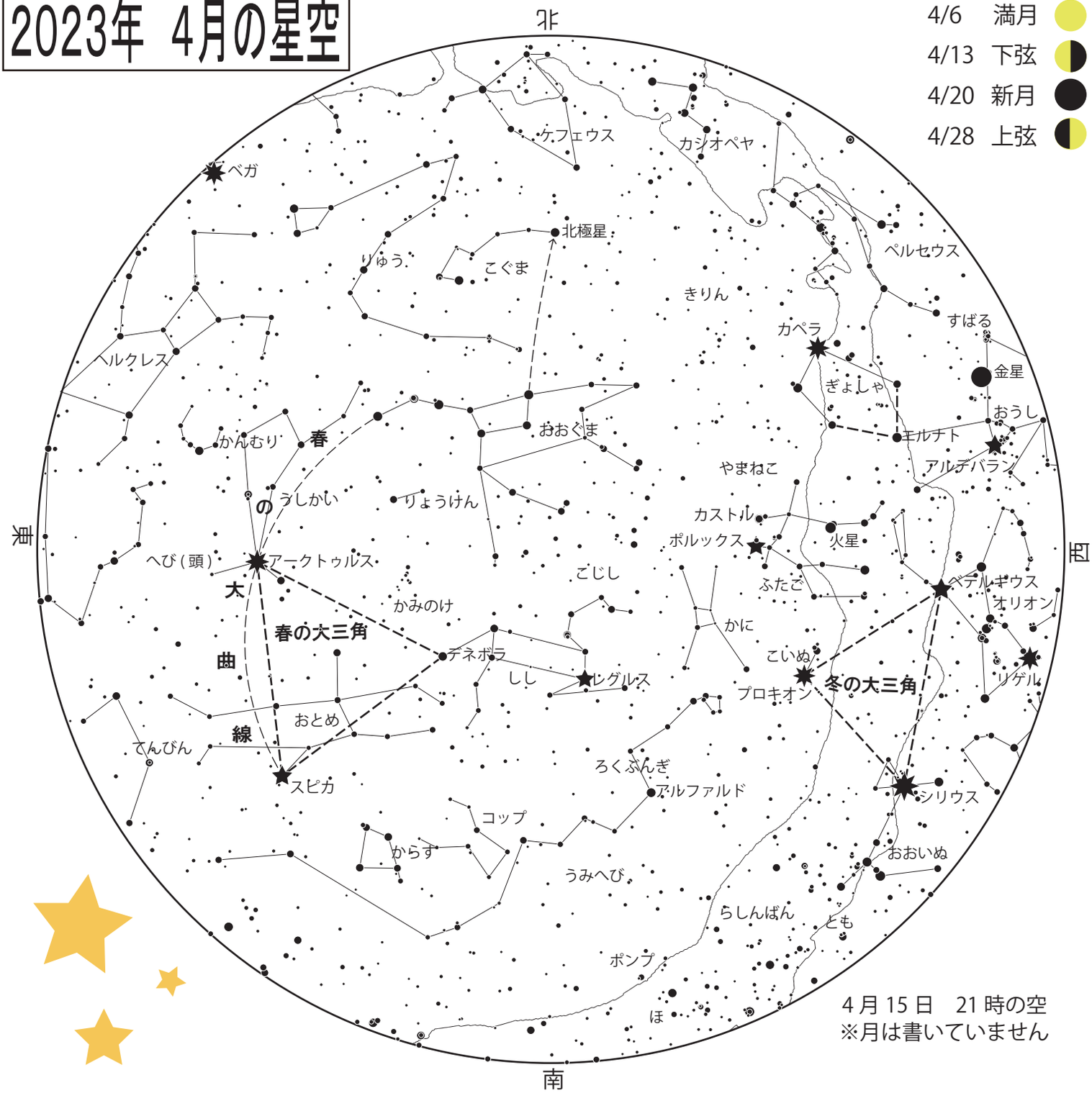
姫路で見る 2023年 4月の星空

図の中心が頭の真上（天頂）、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

姫路科学館
Himeji City Science Museum

4/6　満月
4/13　下弦
4/20　新月
4/28　上弦



4月15日　21時の空
※月は書いていません

冬の星座はだいぶ西の空に傾いてきました。おおいぬ座の**シリウス**とこいぬ座の**プロキオン**、オリオン座の**ベテルギウス**を結んでできる**「冬の大三角」**が目立ちます。西の空ではほかにも、赤っぽく輝く惑星の**火星**がふたご座、宵の明星・金星がおうし座のあたりを移動中です。惑星たちと周りにある恒星たちとで明るさや見える位置を比べてみるのも面白いですよ。

頭の上は春の星空が広がります。南の空高い所にやってきているのは**しし座**です。胸元では一等星の**レグルス**が輝きます。さらに北の空高くにはひしゃくの形をした**「北斗七星」**が見えています。ひしゃくの器の先からは北の空の目印・**北極星**を見つけることができます。北斗七星はおおぐま座のしっぽにある星の並びで、北極星はこぐま座のしっぽの星です。今度はひしゃくの持ち手から**「春の大曲線」**をたどっていくと、うしかい座の**アークトゥルス**、おとめ座の**スピカ**に出会います。アークトゥルスとスピカ、しし座のしっぽの星**デネボラ**とを結ぶと**「春の大三角」**の出来上がりです。

いよいよ見納めの冬の星たちと、これからが見頃の春の星たちをぜひ探してみてください。